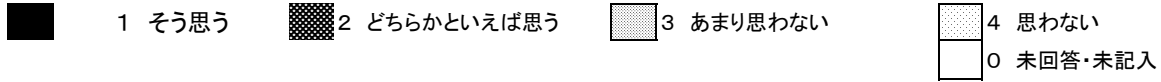


# 令和3年度第2回学校評価アンケート[結果の分析と考察]

児童、保護者、教職員、地域住民の4者で関連する項目について、分析しています。なお、グラフの上段は第1回目(令和3年7月)、下段は第2回目(令和4年1月)の結果であり、点線は肯定率の変化を表しています。

グラフ凡例



上段: 第1回(令和3年7月実施)

下段: 第2回(令和4年1月実施)

項目	児童		保護者		教職員		地域住民	
	No.	質問内容	No.	質問内容	No.	質問内容	No.	質問内容
知	1	勉強では、進んで考えたり発表したりしている。			1	子どもたちは、進んで考えたり表現したりしている。		
R3.7								
R4.1								
知	2	先生の話や、友達の発表をしっかりと聞いている。			2	子どもたちは、人の話をしっかりと聞くことができる。		
R3.7								
R4.1								
知	3	授業が、よく分かる。			3	学校は、授業を通して表現力を高めるための授業改善を図っている。		
R3.7								
R4.1								
知	5	毎日、宿題や自分の勉強などの家庭学習をしている。	1	子どもは、進んで家庭学習をしている。	4	学校は、家庭学習を通して学習の仕方を身に付けさせるようにしている。		
R3.7								
R4.1								
知	6	学校や家庭で、読書をしている。	2	子どもは、読書をしている。	5	子どもたちは、学校や家庭で進んで読書をしている。		
R3.7								
R4.1								

項目	児童		保護者		教職員		地域住民	
	No.	質問内容	No.	質問内容	No.	質問内容	No.	質問内容
知	7	忘れ物がないように自分で学習の準備をしている。	3	子どもは、自分で次の日の学習準備をしている。				
R3.7								
R4.1								

【考察 ～知～】

いずれの項目についても80～90%の高い肯定率である。

○児童は、授業中に進んで考えたり、発表したり、話をしっかりと聞いている。家庭でも学習や読書を大半がしている。「授業がよく分かる」とした児童が増え、教職員の表現力を高めるための授業改善の成果がみられる。

▲保護者によれば、家庭学習の取組は増えたものの、読書については6割を切った。

★学習については、児童のアンケートのみならず、学力定着状況確認問題(テスト)や全国学力・学習状況調査等の結果を踏まえ、学習習慣の定着と教師の授業改善を今後も続けていくことが必要である。

★読書週間を設定したり、図書館運営は工夫している。家庭と連携した読書の習慣づけが必要と思われる。

	児童	保護者	教職員	地域住民
徳	8 いつも自分から先に気持ちの良いあいさつをしている。	4 子どもは、出会った人に自分から気持ちの良い挨拶をしている。	6 子どもたちは、自分から気持ちの良い挨拶ができる。	1 子どもたちは、地域の方に元気に挨拶をしている。
R3.7				
R4.1				
徳	9 人に笑顔で接したり、親切にしたりすることができる。	5 子どもは、人に笑顔で接したり、親切にしたりすることができる。	7 子どもたちは、笑顔で人に接したり、親切に接したりできる。	2 子どもたちは、人に笑顔で接したり、親切にしたりすることができるように育っている。
R3.7				
R4.1				
徳	10 友達にいやな言葉を言わないで仲良くし、いじめはしていない。		8 学校は、いじめ根絶に向けて組織的な取組を行っている。	
R3.7				
R4.1				
徳	11 きまりや約束を守っている。	6 子どもは、きまりや約束を守って生活している。	9 子どもたちは、きまりや約束を守ることができる。	
R3.7				
R4.1				
徳	12 係、掃除、委員会活動、ボランティア活動などに一生懸命に取り組んでいる。		10 子どもたちは、係、清掃活動、委員会、ボランティア活動に一生懸命に取り組むことができる。	
R3.7				
R4.1				
徳	13 自分の夢や目標をもっている。	7 子どもは、夢や目標をもっている。	11 子どもたちは、自分の夢や目標をもっている。	
R3.7				
R4.1				

【考察 ～徳～】

○ほとんどが90%以上の高い肯定率である。

○係活動や掃除、委員会活動の取組について、全員が評価1(そう思う)と回答した。

○子どもの夢や目標について、保護者と教職員の肯定率が向上した。

▲児童は、あいさつや笑顔で人に接したりすることについて、前回100%の肯定率であったが、若干名が否定的な回答をしている。あいさつや決まりや約束を守ることについての若干名が否定的である。

★行事やキャリア教育の取組が児童の自己肯定感や自己有用感を高めていると考えられる。今後も「あいさつ」や人との接し方から、児童一人ひとりの変化を見逃さないように情報共有をしていく。いじめがないように、継続した指導を続ける。

	児童	保護者	教職員	地域住民
体	14 おうちでは、よく手伝いをしている。	8 子どもは、家庭で進んで手伝いをしている。		
R3.7				
R4.1				
体	15 「早寝、早起き、朝ごはん」を心がけている。	9 子どもは、早寝・早起き・朝ごはんの生活リズムを整えている。	13 学校は、保護者と連携して、基本的な生活習慣の定着を図っている。	3 子どもたちは、基本的な生活習慣（言葉遣いや返事など）が身に付いている。
R3.7				
R4.1				
体	16 健康に気を付けて外遊びなどで体をきたえている。	10 子どもは、家庭でも、屋外で元気に遊んでいる。		
R3.7				
R4.1				

【考察 ～体～】

いずれも高い肯定率である。

- ▲手伝い、生活習慣、体をきたえることについて、若干肯定率が下がっている。
- ▲基本的な生活習慣について、教職員はその定着を図る指導を意識しているが、地域住民からは否定的な意見が増えた。

★寒い冬の時期もほとんどの児童が学校では外に出て体を動かしている。持久走大会や縄跳び大会の取組で体をよく動かしている。生活習慣の身に付いていない児童は家庭と学校が連携する必要がある。

	児童	保護者	教職員	地域住民
特色	17 田植えなど、体験学習は楽しい。		17 子どもたちは、水田耕作学習を通して活動の楽しさと自然や地域への感謝を感じている。	
R3.7				
R4.1				
特色	18 歌舞伎など伝統的な文化を学習するのは楽しい。		18 子どもたちは、俵山歌舞伎の活動を通して、充実感、達成感を得ている。	
R3.7				
R4.1				
<p><b>【考察 ～特色ある教育活動～】</b>          本校独自の体験活動、伝統的な文化の学習について、100%に近い肯定率である。</p> <p>○児童は、体験学習や、伝統的な文化の学習について、ほとんど全員が肯定している。教職員全員が現在の体験学習や地域と連携した学習が有効であると考えている。</p> <p>★地域と連携した、体験活動や、伝統的な学習、ふるさとを愛する心を育む教育活動を継続する。</p>				

**【令和3年度 総括】**

学校評価アンケートから、ほとんどの児童がほとんどの質問項目において肯定的にとらえている。保護者や地域住民も学校の教育活動を肯定的にとらえており、各種取組において積極的な協力体制ができています。

感染症対策のため、従前の活動からは中止や縮小した取組も多々あったが、小規模校の強みを生かして平常の取組以上の教育効果が得られることもあった。来年度に向けて、知・徳・体を意識した教育はもちろんのこと、俵山小学校独自の取組がそれにつながるよう、意図的・計画的に仕組んでいきたい。